

研究所日誌

1995年2月

- 3日 勝部欣一副理事長をお見舞(東京・中野総合病院)。
- 7日 労働者協同組合センター事業団東京、ヘルパー会議(東京・浮間)。
- 8日 日本協同組合学会、春季研究集会打ち合わせ会議。
- 9日 勝部欣一副理事長、手術後の回復が良好で退院。
- 13日 調査研究「労働者協同組合センター事業団の「よい仕事、調査」、打ち合わせ会議(労協本部)。*センター事業団よりの委託を受け本調査を実施します。全国64事業所を対象に、生協物流・病院関連・公園緑化などの公共事業の部門について、①「よい仕事」の現状を客観的に調べ、②その発展方向と必要条件を明らかにし、③研究所として「よい仕事」の基準を提案する。以上を内容とする調査です。3月いっぱい東京周辺、東北の予備現地調査を行ない、5月のセンター事業団の総代会で全体像を示し、正式調査に入ります。今後、毎年この調査を実施し、時系列的に調査報告を積み重ねて行きます。
- 13日 事務局会議。
- 14日 埼玉協同のつどい、事務局会議、つどいの総括と今後について(浦和市・教育会館)。
- 15日 労働者協同組合法制化に関する検討会議、石見尚、樋口篤三、菅野正純(研究所)。
- 17日 雇用シンポジウム東京集会、チラシ発送。
- 20日 労働者協同組合センター事業団東京、ヘルパー会議(東京・浮間)。
- 21日 雇用シンポジウム東京集会、団体への要請まわり。
- 22日 雇用シンポジウム東京集会、打ち合わせ会議。
- 22日 埼玉協同のつどい、総括実行委員会(浦和市・教育会館)。*つどいの報告集を発刊することに決定。
- 23日 研究所のパソコン通信実施に関する検討会議、コンピューターユニオン：篠塚氏(研究所)。*既存の通信網を利用し、広場機能・メール機能・ライブラリー機能等を検討すること、またICAのインターネットとの関係も組入れることも追求するなどが検討された。実施案が確定され次第、会員からの意見を求めることとなる。
- 24日 雇用シンポジウム東京集会、団体への要請まわり。
- 24日 労協の農業生産への事業展開の可能性、都市農家を訪問調査、小沢房生、佐藤弘子(東京・世田谷)。
- 24日 『協同の発見』第35号(1995年2月号)発行。
- 24日 黄柳野高校、学校法人の認可正式にあり。生徒募集と受入れ決定をすすめ、4月開校にむけ本格的準備に入る。
- 25日 労働者協同組合センター事業団関西ブロック学習会、講師：菅野正純(大阪)。
- 25日 神奈川ワーカーズ・コレクティブ10周年記念フォーラム「ワークスタイル21」に参加(横浜)。
- 27日 労働者協同組合センター事業団東京、ヘルパー会議(東京・浮間)。*センター事業団では、本年5月より7月にかけて東京都の指定講座として「ホームヘルパー養成研修3級課程」を、東京・浮間地区で実施することとなりました。研究所も企画面で協力。
- 27日 第7回高齢者福祉研究プロジェクト会議、全労済助成調査研究「高齢者福祉に関わる地域の協同の運動と事業」(研究所)。
*阪神大震災での福祉介護の実態調査のため、3月下旬に神戸事業団・伊丹事業団のヘルパー部門の調査に入ることを決定。
- 27日 調査研究「労働者協同組合センター事業団のよい仕事の現状と展望」、第1回調査ヒアリング(労協本部)。